

MITSUBISHI

三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機

時間帯別電灯通電制御型

形名 SRT-HP373 (タンク容量:370L)

SRT-HP463 (タンク容量:460L)

SRT-HP373D (タンク容量:370L)

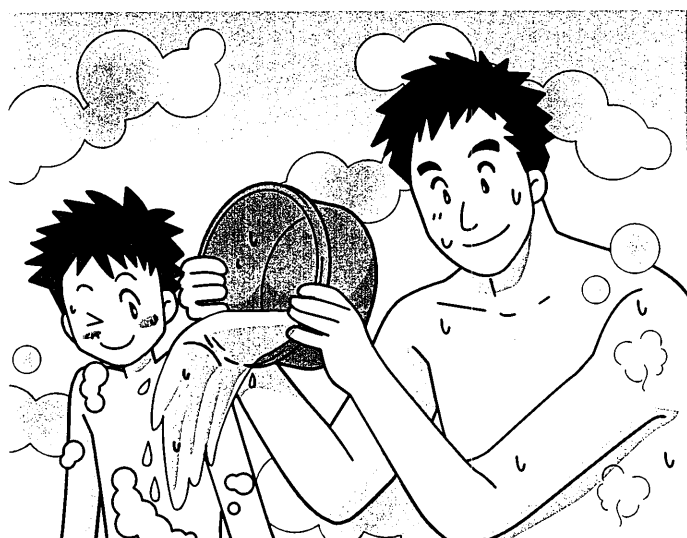
SRT-HP463DM (タンク容量:460L)

(形名はヒートポンプユニットと貯湯タンクユニットのセット形名です。)

※リモコンは別売です。

形名:RMC-HP3

取扱説明書



この給湯機は、申請によって通電制御型として電気料金の割引が適用されます。適用を受けるため、必ず、据付工事店(販売店)または最寄りの電力会社にご相談の上、申請を行なってください。(買い替え時などで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。)

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
- 保証書、据付工事説明書(チェックリストが入っています。)、据付工事確認書は必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店(販売店)からお受け取りください。
- お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- 試運転は、据付工事店立ち合いのもとで行なってください。その際、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。
- この給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者となる方が安全な正しい使用方法を知るために、この取扱説明書と据付工事説明書、保証書などを次の所有者の方へ渡してください。
- この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

この取扱説明書は再生紙を使用しました。

もくじ

ページ

ご使用前に

- 特長 2
- 安全のために必ずお守りください 3
- ご使用にあたってのお願い 6
- 各部のなまえ
 - リモコン 7
 - ヒートポンプユニット 8
 - 貯湯タンクユニット 9
- 準備 10
 - 時刻を合わせる 12
 - 電力契約モードを選ぶ 13
 - タンクのわき上げ温度を設定する 14
 - たくさん お湯を使う(わき増し) 16

使いかた

「蛇口やシャワー」に行くお湯の温度を決める... 17

こんなとき

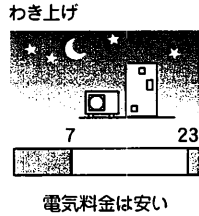
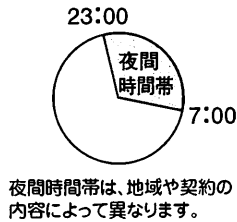
- 数日間 お湯を使わないとき 18
- 長期間 使用しないとき 19
- 災害時などにお湯を取り出す 20
- 凍結防止をする 21
- 停電したとき 21
- 定期点検(有料) 22
- 断水したとき 22
- 日常のお手入れと点検 23
- 故障かな? 24
- アフターサービス 26
- 仕様 裏表紙

特長

大気の熱を使って、経済的にお湯をつくります

この給湯機は、自然冷媒(CO₂)を使ったヒートポンプによって、自然のエネルギー(大気の熱)を利用して電気で効率良くお湯をわか上げます。

■主に、電気代の安い夜間時間帯にお湯をわかして(わか上げ)タンクにためておき、昼間に使うのが基本です。

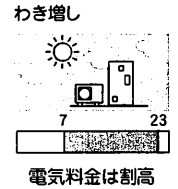


1.「電力契約モード」を選ぶ(P13)

契約により時間帯と料金が異なりますので、契約に合わせて「電力契約モード」を選んでください。

2.わか上げ温度を設定する(P14)

ヒートポンプでわか上げるお湯の温度を「高」「おまかせ」「低」から、お好みに選ぶことができます。



3.「わか増し」もできます(P16)

夜間時間帯でなくても随時お湯をわかすことを「わか増し」といいます。たくさんお湯を使う日には、あらかじめ「満タンわか増し」を使いましょう。

万一のとき水が使えます

地震などの万一の災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。(P20)



「高圧力型」快適シャワー スピード湯はり

この給湯機は高圧力型なのでシャワーも快適。湯はり時間もぐんと短縮できます。また、2階にも給湯できます。





安全のために必ずお守りください

- ご使用前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。据付工事説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

(本体の表示)

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

 禁止
 分解禁止
 接触禁止

 アース線接続
 指示にしたがう

 感電注意	 発火注意
 高温注意	 回転物注意

警告

給湯時は湯水混合栓 (P11) に手を触れない



やけど注意



やけどをすることがあります。

使いはじめはやけどに注意する



やけど注意

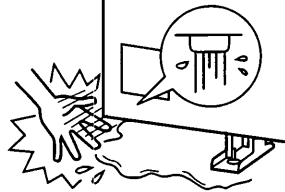


特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

排水時 (P19) はお湯に手を触れない



やけど注意



やけどをすることがあります。

逃し弁点検時 (P23) は内部の配管に手を触れない



やけど注意

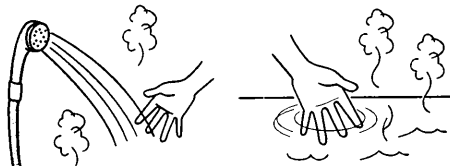


やけどをすることがあります。

シャワー使用時や入浴時は、湯温を指先等で確認する



確認



湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

給湯温度の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行う (P17)

確認してから

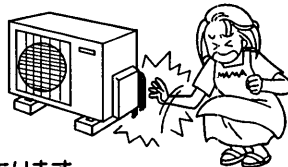


やけどをすることがあります。浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更をしないでください。

ヒートポンプ配管 (P11) に手を触れない



やけど注意

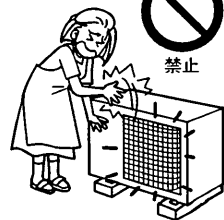


やけどをすることがあります。

ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンに触ったり、蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない (P8)



禁止



けがをすることがあります。

安全のために必ずお守りください(つづき)

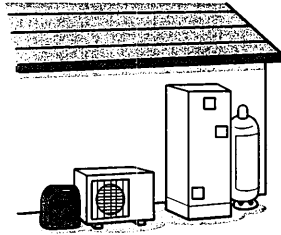
警告

近くにガス類や
引火物を置かない



禁止

発火・火災になることがあります。



異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源レバー(P9)を下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」へ連絡する

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。



こげ臭いわ



前面カバーを開けない(P9)



分解禁止

開けると、感電することがあります。



改造をしない

(修理技術者以外の方は)
分解・修理をしない



分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



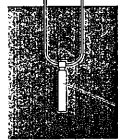
アース工事を確認する

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。



アース工事

ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニットからのアース線



アース棒

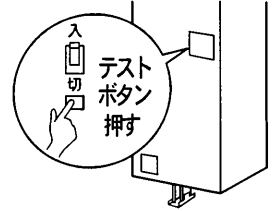
アースの取付けは、据付工事店または「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へお問合せください。

漏電遮断器の動作を確認する(P23)



動作確認

故障のまま使用すると、感電することがあります。



入切リ
テストボタン
押す

注意

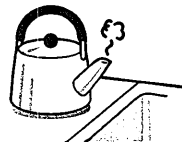
そのまま飲用しない



禁止

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼してください。



機器を満水にしてから電源を入れる(P10)



滴水確認

機器に水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。

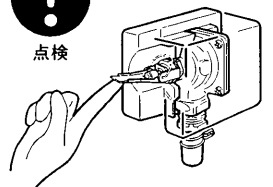


逃し弁の点検をする(P23)



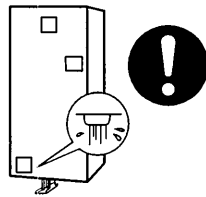
点検

点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。また、水漏れにより電気代、水道代が高くなったり、家屋などへの不具合が発生することがあります。



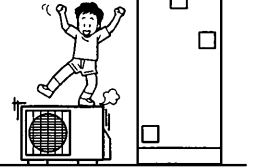
⚠ 注意

漏電遮断器の電源レバーを「切」にするときは、機器と配管内の水を確実に抜く



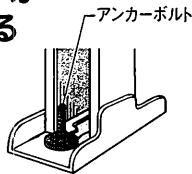
配管が凍結し、水漏れすることがあります。

機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない



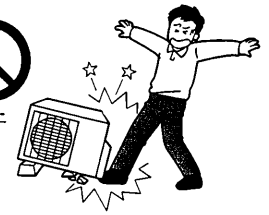
事故・やけどの原因になります。

貯湯タンクユニットの脚(3カ所)がアンカーボルトで固定されているか確認する



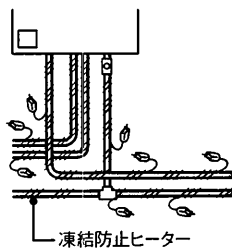
固定されていないと、地震のとき、機器が倒れてけがをすることがあります。

ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない



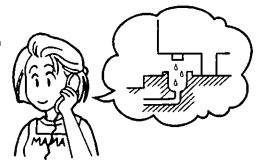
ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。

凍結防止対策の確認をする (P21)



凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

床面が防水・排水処理されているか据付工事店へ確認する



処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる可能性があります。

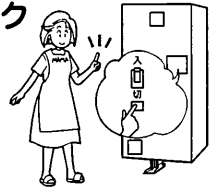
タンクの熱湯を直接排水しない (P19 手順2)



やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

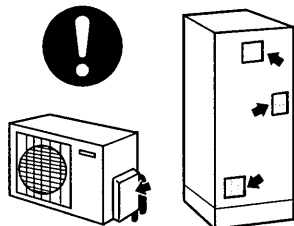


1か月以上使用しないとき (P19) は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、タンクの排水をする



排水しないと水質が変化することがあります。

操作カバー・操作窓・配管カバーは閉じる (P8 P9)



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

ご使用にあたってのお願い

使用にあたっては、以下のことをお守りください。

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

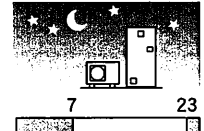
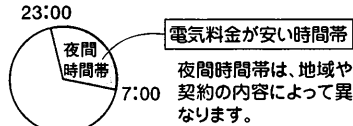
- シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものをするときも止めながら



流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

夜間時間帯のご使用について

この給湯機は主に、夜間時間帯にお湯をわかします
ので、この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを
行い電気代が高くなる場合があります。
〔「深夜のみ」でご使用のときは、満タンまでお湯が
わかない場合があります。〕



電気料金が安い夜間時間
帯に主にお湯を沸かします。

リモコンの時刻を確認する

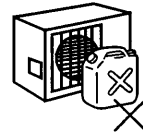
リモコンの時刻が進んだり
遅れたりした場合は、台所
リモコンで時刻を合わせ直
してください。(F12)



時刻がずれていると、タンク内をわき上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を
除雪してください。
(誤動作や故障の原因)
- ヒートポンプユニットの周
囲に通風の妨げとなるも
のが置かれている場合は、
取り除いてください。
(性能低下や故障の原因)



機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となります。

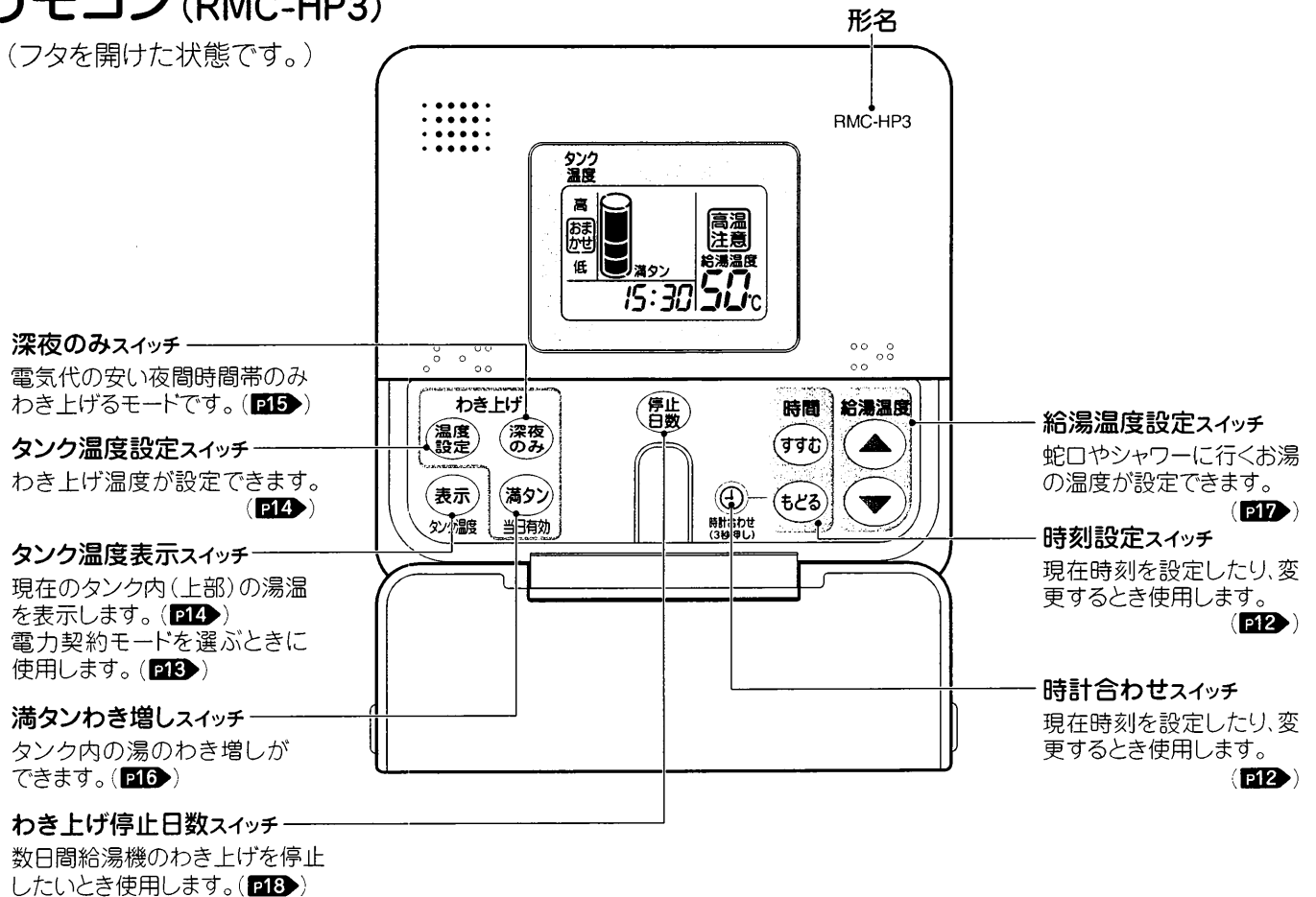
- 最低気温が-10℃以下となる場所
- 屋内(ヒートポンプユニットのみ)
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 塩害地
- 冠水する場所

ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所(隣家の迷惑になる場所)に設置されている場合は、据付工事店(販売店)へご連絡ください。

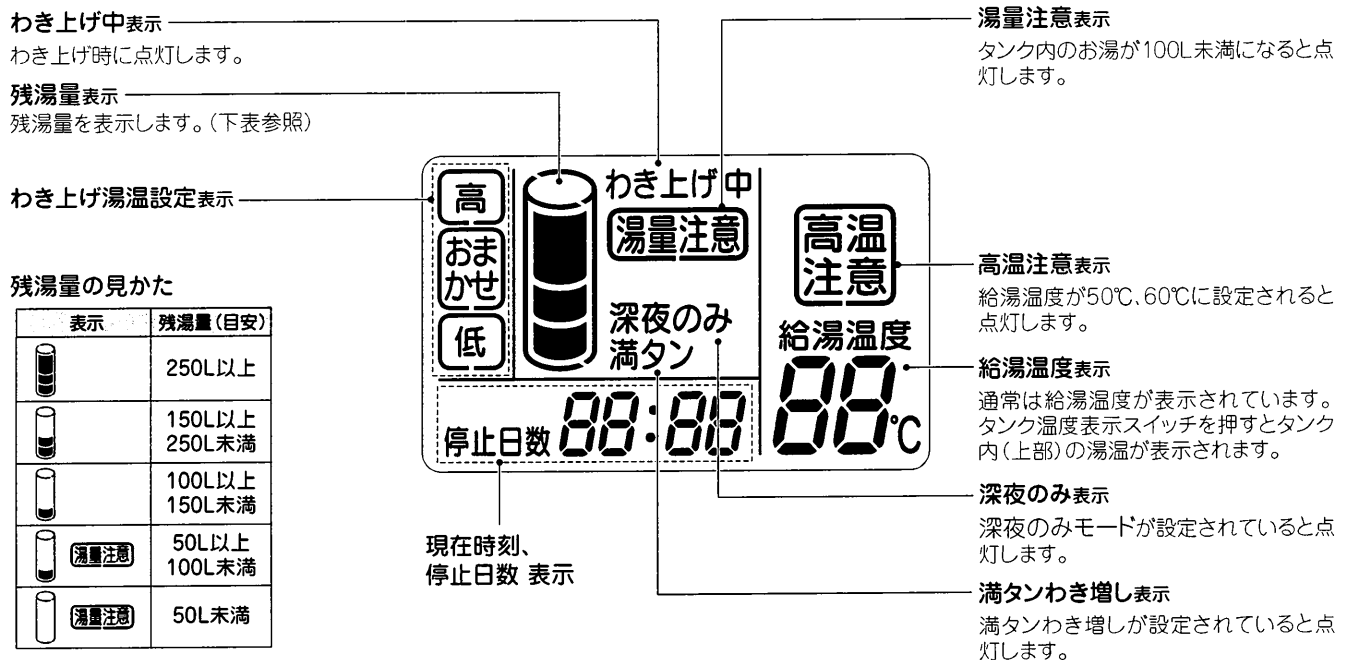
各部のなまえ

リモコン(RMC-HP3)

(フタを開けた状態です。)



表示部 (説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。)

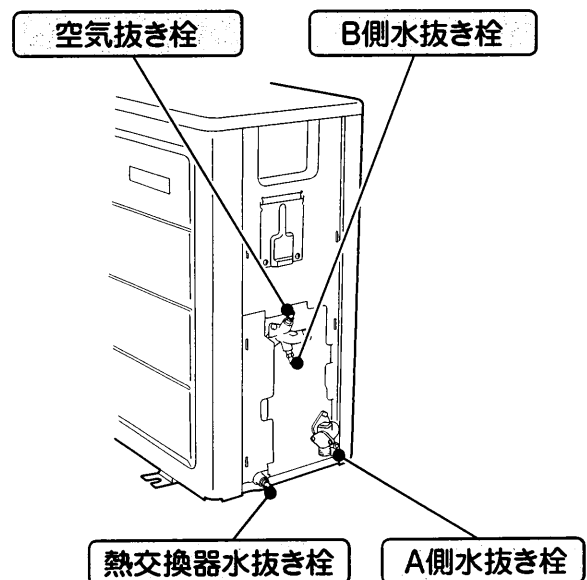
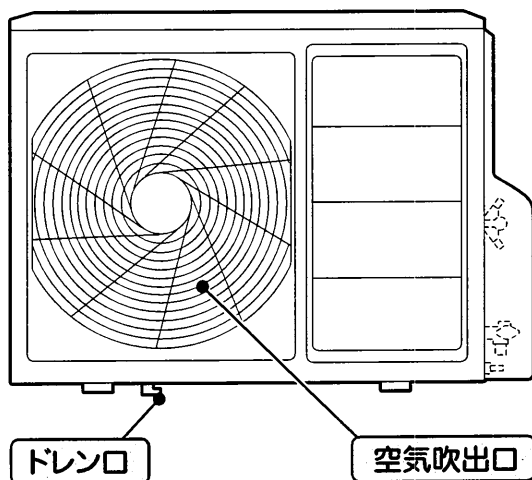
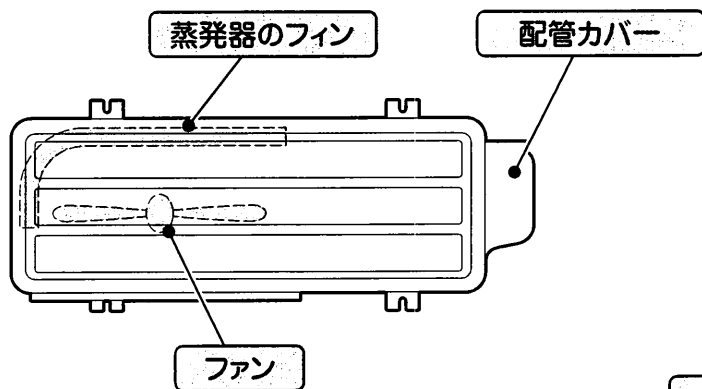


お願い ●リモコンは、防水タイプではありません。水をかけないでください。故障の原因になります。

お知らせ ●リモコン表示部のバックライトの点灯は、スイッチを押してから約1分間です。

各部のなまえ (ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット)

ヒートポンプユニット



運転中はフィンが結露し、ドレン口から少量(1時間に約1L程度)*の水が出る場合がありますが故障ではありません。

※温度、湿度により変化します。

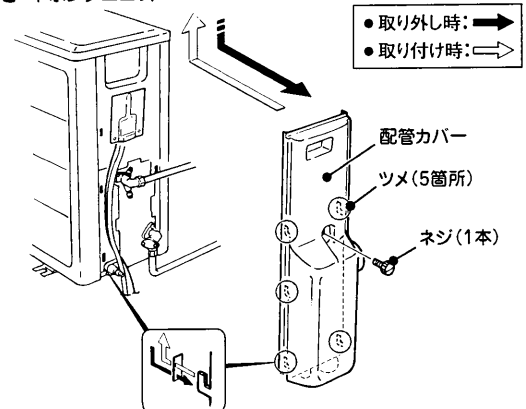
配管カバーの取り外し方法

- (1) ネジ(1本)を外す
- (2) 配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く

警告

ヒートポンプ配管に手を触れない
(やけどの原因)

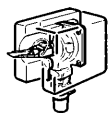
ヒートポンプユニット



貯湯タンクユニット

逃し弁 操作窓

逃し弁の点検をするときに使用します。



逃し弁

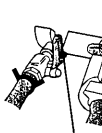
わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力 (190kPa) 以下にします。



減圧弁

タンクへの給水圧力 (170kPa) を保ちます。
製品形名に「D」の付くタイプは自動止水弁付きです。

排水栓 操作窓



排水栓

タンクのお湯を排水するとき 사용합니다。(P19)

非常用 取水栓 (水抜き栓)

非常の際には、タンクのお湯 (水) を取出して生活用水として利用できます。(P20)

排水口

逃し弁、缶体保護弁、排水栓からのお湯 (水) が出ます。「わき上げ中」や「わき増し中」は、逃し弁からの水が少量出ますが故障ではありません。

上部振れ止め金具

2階以上に据付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

タンク

操作カバー

漏電遮断器



電源レバー
電源を「入」「切」します。

テストボタン
(P23)

前面カバー

形名・製造番号表示

製品の形名・製造番号などが記載されています。

脚

脚部カバー (別売)

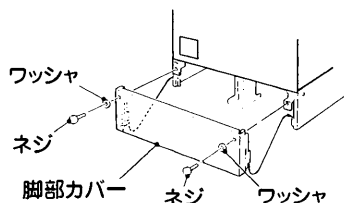
左右のねじで取付け・取外しができます。

ドレンホース

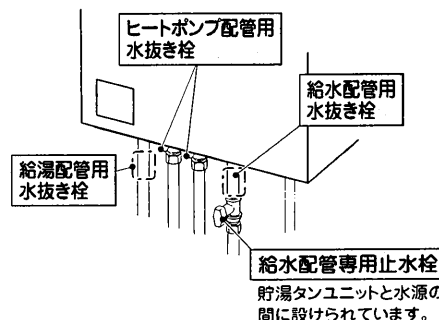
万一の水漏れの場合は、ここから排水します。

脚部カバー (別売) の外し方

- (1) ネジ (2本) を外す
- (2) 脚部カバーを上方にずらしてツメを外し、手前に引く



止水栓、水抜き栓の位置



※ 止水栓等の位置が分からない場合は、据付工事店へお問い合わせください。

準備

使い始めは、次の手順で操作します。ただし、リモコンが点灯していること、貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げて排水口から水が出ることが確認できる場合は、手順4から確認してください。タンクの水抜きをした場合は必ず次の手順で操作します。また、タンクの水抜きをせずに1カ月以上給湯機を使用しなかった場合も、いったんタンクの水抜きをして（P19）から次の手順を行なってください。

※必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。

方法がわからない場合は、据付工事を行なった販売店・工事店、または、当社ご相談窓口（P27）へご相談ください。

1. 貯湯タンクユニット内を初期状態にする

(1) 貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は「切」にする



電源レバーを「切」にする

漏電遮断器

(2) 200V電源ブレーカーを「入」にする



(3) 漏電遮断器の電源レバーを約30秒間「入」にしたあと再び「切」にする




電源レバーを「入」→「切」にする

漏電遮断器

2. 以下のことを確認する

(1) 貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は「切」にする

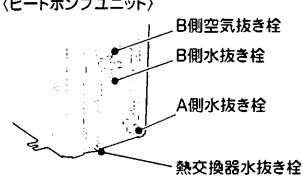


電源レバーを「切」にする

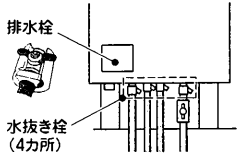
漏電遮断器

(2) ヒートポンプユニットの水抜き栓（3カ所）、空気抜き栓（1カ所）、貯湯タンクユニットの排水栓、水抜き栓（P9）が閉じていることを確認する（開いている場合はすべて閉じてください。）

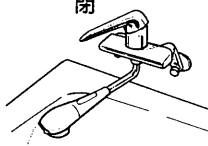
（ヒートポンプユニット）



（貯湯タンクユニット）



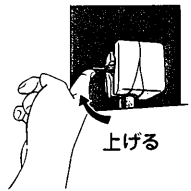
(3) 蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する



閉

3. 機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にする

(1) 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる



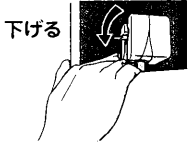
上げる

(2) 給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する



ひらく

(3) 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを下げる



下げる

- タンクが満水になると排水口から水がでます。（満水までの目安:約30分）

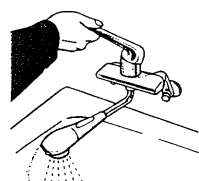
⚠ 注意

機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にしてから電源を入れる（故障の原因）

- タンクが満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。流量センサーの故障の原因となります。
- 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

4. 機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）の空気を抜く

(1) 蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開き（1カ所）、空気が混ざらなくなったら閉じる



(2) ヒートポンプユニットの水抜き栓（3カ所）を開く

- A側水抜き栓→熱交換器水抜き栓→B側水抜き栓の順に開き、空気が混ざらなくなったら閉じてください。

<順序>


①A側水抜き栓

↓


②熱交換器水抜き栓

↓

③B側水抜き栓

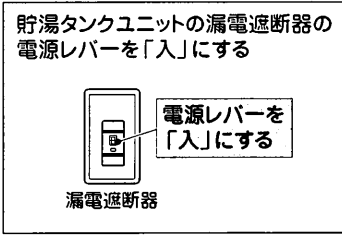


開く



閉じる

5.電源を入れる



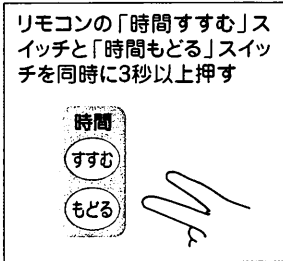
6.リモコンで時刻を設定する

時刻を合わせる (P12)

時刻設定を完了させないと7.の強制運転を行えません。設定完了後は、自動的にヒートポンプユニットの運転を開始します。

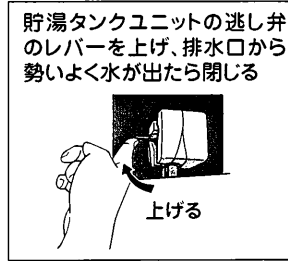


7.ヒートポンプ配管の空気を抜く(強制運転)



- 強制運転はヒートポンプ配管内の水を強制的に循環させるものでわき上げは行いません。
- 強制運転中はリモコンの表示部に「Air」が表示されます。
- 強制運転は約20分で終了しますので必ず終了するまで行なってください。途中で終了する場合はもう一度リモコンの「時間すすむ」スイッチと「時間もどる」スイッチを同時に3秒以上押してください。
- 停止日数が設定されているときは、強制運転を行いません。

8.貯湯タンク内の空気を抜く



9.リモコンで初期設定を行う

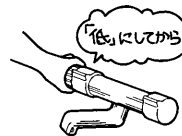
- (1) 電力契約モードを選ぶ (P13)
- (2) わき上げ温度を決める (P14)

※その他の設定も初期状態に戻っていることがありますので設定し直してください。

10.お湯を使う

約8時間で満タンまでわき上がります。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

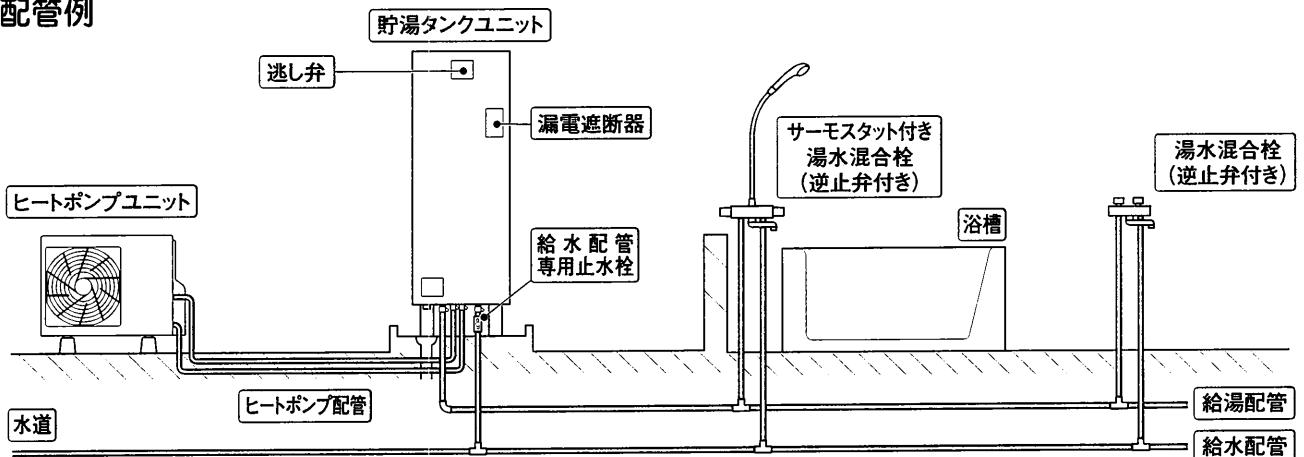
- 時刻を設定すると、昼間でもすぐにわき上げを開始しますが異常ではありません。(このため、初日のみ電気代が割高になります。) 2日目からは主に夜間時間帯でわき上げを行います。
- 運転モード (P15) を「深夜のみ」に設定すると、昼間にはわき上げを行いませんが異常ではありません。(夜間時間帯になるとわき上げを行います。) すぐにわき上げを行いたいときは、満タンスイッチを押してください。



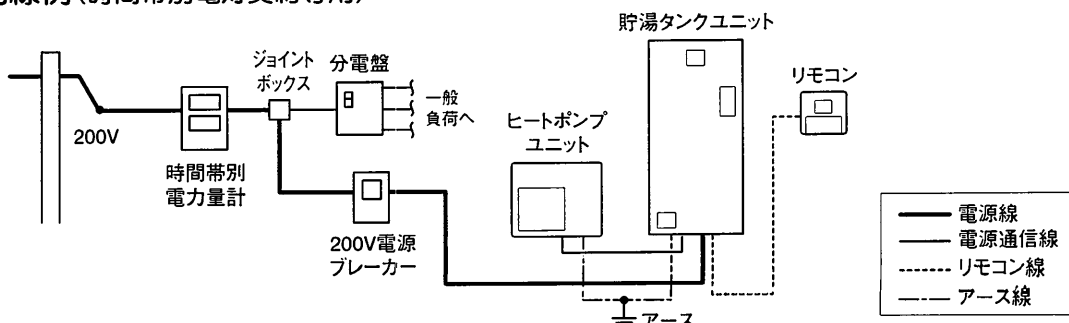
警告

使いはじめは、やけどに注意する
特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

配管例



配線例 (時間帯別電灯契約専用)



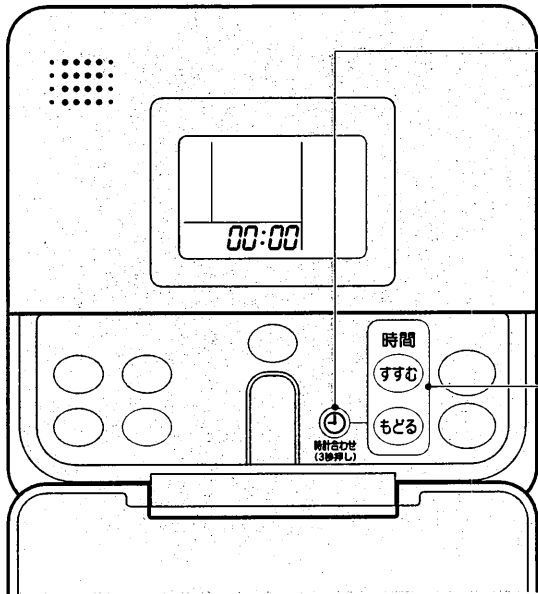
時刻を合わせる

給湯機を使うためには、まず時刻を合わせてください。

時刻を設定しないと、わき上げできません。

また、時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。

リモコン



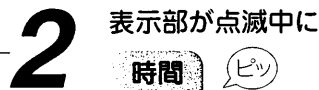
必要な箇所を表示してあります。



表示部



お買上げ時(初めての通電時)や2時間以上停電した後は、「00:00」が点滅しますので手順2から始めてください。



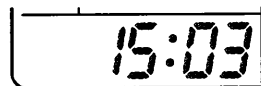
を押して
時刻を合わせる

すすむ を押すと1分間ずつ、表示部の数字が進みます。

もどる を押すと1分間ずつ、表示部の数字が戻ります。

(スイッチを押し続けると、表示が早く変わります。)

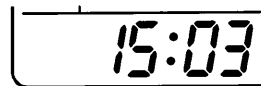
表示部



(例) 午後3時3分



表示部



約10秒間経過すると⚡を押さなくても時刻設定が完了します。

お願い

● 時計の時刻は温度変化などにより若干変動します。時刻が進んだ場合や遅れた場合は、時刻を合わせ直してください。また、1カ月に一度は時刻が合っているかご確認ください。

● 約2時間以上の停電があった場合や長時間電源(漏電遮断器、電源ブレーカーなど)を「切」にしていた場合、表示部は「00:00」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。わき上げできません。(P21)

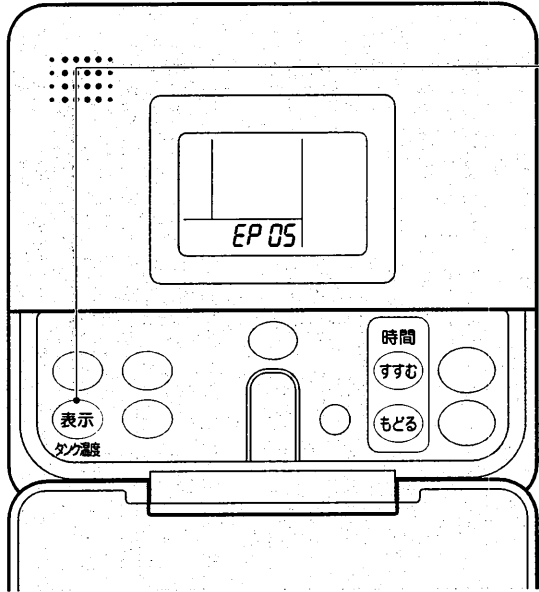
お知らせ

● 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。

電力契約モードを選ぶ

時間帯別電灯契約の種類によって、夜間時間帯や安価な時間帯が異なります。
電気料金を抑えるため、必ず、ご使用の契約に合う電力契約モードを選んでください。

リモコン

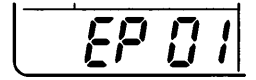


必要な箇所を表示してあります。

お買い上げ時は…表示「01」

1 **表示** を5秒以上押す

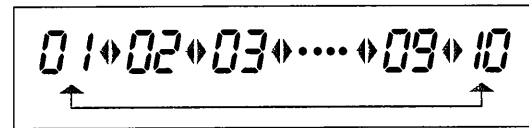
表示部



電力契約モード表示になります。

2 **時間** を押して電力契約モードを選ぶ

「すすむ」「もどる」を押すごとに表示が切り替わります。



3 **表示** を押す

表示部



(例) 電力契約モード 05
設定完了です。

時刻表示に戻ります。

電力契約モードの内容 (平成16年8月現在)

01	0	7	10	17	23	24	夜間時間帯	朝晩・リビング	昼間時間帯	朝晩・リビング	
●東京電力:電化上手 ●関西電力:はびeタイム ●沖縄電力:Eeライフ											
02	0	7	9	17	23	24	夜間時間帯	朝晩・リビング	昼間時間帯	朝晩・リビング	
●中部電力:Eライフプラン											
03	0	8	10	17	23	24	夜間時間帯	朝晩・リビング	昼間時間帯	朝晩・リビング	
●中国電力:ファミリータイム											
04	0	8	10	17	22	24	夜間時間帯	朝晩・リビング	昼間時間帯	朝晩・リビング	
●北陸電力:エルフナイト10プラス ●九州電力:電化deナイト											
05	0	7			23	24	夜間時間帯		昼間時間帯		
●東北電力:やりくりナイト8 ●東京電力:おトクなナイト8 ●北陸電力:エルフナイト8 ●中部電力:タイムプラン ●関西電力:時間帯別電灯 ●四国電力:電化deナイト、得トクナイト ●九州電力:時間帯別電灯 ●沖縄電力:時間帯別電灯											

06	0	8			22	24	夜間時間帯		昼間時間帯		
●東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ●東京電力:おトクなナイト10 ●北陸電力:エルフナイト10 ●九州電力:よかナイト10											
07	0	8			23	24	夜間時間帯		昼間時間帯		
●中国電力:エコノミーナイト											
08	0	6			22	24	夜間時間帯		昼間時間帯		
●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯22時~6時)											
09	0	7			23	24	夜間時間帯		昼間時間帯		
●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯23時~7時)											
10	0	8				24	夜間時間帯		昼間時間帯		
●北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ(夜間時間帯24時~8時)											

契約している電力制度の内容については、各電力会社にお問い合わせください。

お知らせ ●手順2で10秒以上スイッチ操作がない場合は、表示されている電力契約モードで設定されます。

タンクのわき上げ温度を設定する

給湯機を使うためには、タンクの「わき上げ温度」と「運転モード」を設定してください。

「わき上げ温度」は、「高」「おまかせ」「低」から選べます。(どちらの運転モードからでも共通です。)

使い始めは、湯切れ防止のため、必ず、「高」または「おまかせ」に設定してご使用ください。

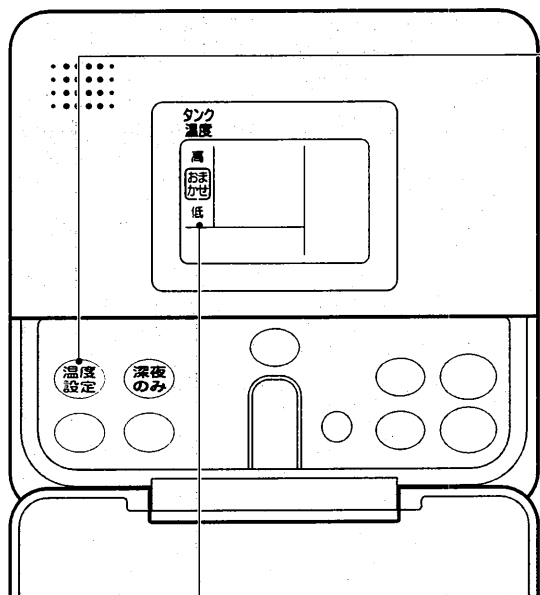
「運転モード」とは、湯切れ防止のためのわき増しのしかたを決めるモードです。「通常モード」「深夜のみモード」から選べますが、湯切れ防止のため、「通常モード」に設定してご使用ください。

〈わき上げ温度の設定〉

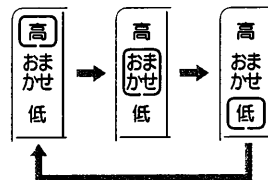
表示	わき上げ温度(目安)	長所・短所
高	約90℃	最高の温度でわき上げるのでお湯をたくさん使えます。
おまかせ	約75℃～約90℃*	季節や過去の使用湯量に応じて効率よくわき上げるので省エネ効果・湯切れ防止効果があります。
低	約75℃*	余分にわき上げないので省エネ効果がありますが、湯切れの心配もあります。

お買上げ時は	…温度設定:おまかせ 運転モード:通常
設定できる温度は	…高/おまかせ/低
設定できる運転モードは	…通常/深夜のみ

リモコン



1 **温度設定** を押す



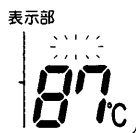
押すごとに、タンクのわき上げ温度設定表示が切り換わります。

2 スイッチを押してから約2秒後、設定が完了します。

枠(□)が移動します。
必要な箇所を表示してあります。

タンクの内の湯温を表示する

貯湯タンクユニットのタンク内上部の温度を表示します。





「給湯温度」が消え、給湯機の温度表示になります。約10秒間表示後、給湯温度を表示します。

お知らせ

- わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は設定したわき上げ温度よりも低くなります。(ヒートポンプ配管が、断熱材20mm、外気温度マイナス7℃、15m配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5℃程度です。外気温度、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、タンクに貯まるお湯の温度は、設定温度よりも10℃程度 低下することがあります。)
- タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。(通常、温度の低下は、2時間に約1℃程度ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。)

〈運転モードの設定〉

運転モード	表示	長所・短所
通常モード		過去の使用湯量からお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間時間帯にも自動でわか増しを行います。おすすめのモードです。
深夜のみモード	 深夜のみ	電気代の安い夜間時間帯のみわか増しを抑制する節約用のモードです。使用量が多いと湯切れの心配があります。

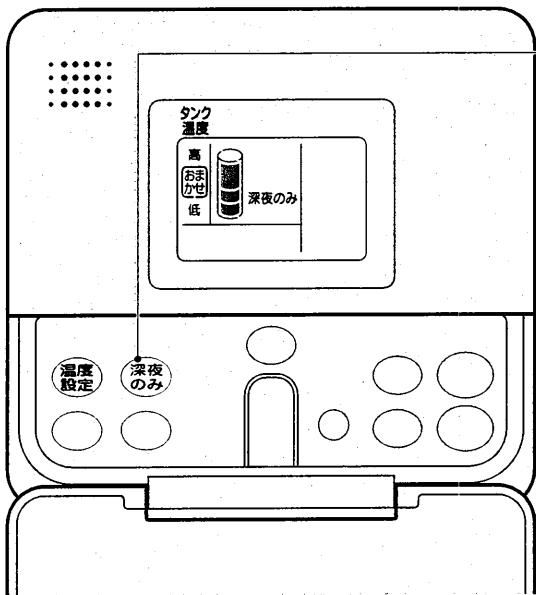
「深夜のみモード」を設定する場合の目安

「通常モード」でご使用いただき、お湯がいつもあまるなど、使用量が少ない場合（残湯量表示部に「湯量注意」が表示されない場合）がご使用の目安です。「湯量注意」が表示される場合は、「通常モード」でご使用ください。

残湯量表示部



リモコン



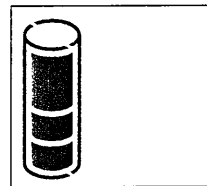
必要な箇所を表示してあります。

1



「深夜のみ」を押すごとに設定が切り替わります。

表示部 (通常モード)



表示部 (深夜のみモード)



「深夜のみ」が点灯

2

スイッチを押してから約2秒後、設定が完了します。

お願い

- わき上げ温度を「低」でご使用の場合、来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に、「高」に設定してください。
- 深夜のみモードを設定すると、お湯が少なくなっても昼間にはわか増しを行いません。万一、湯切れした場合は、満タンわか増し (P16) をご利用ください。

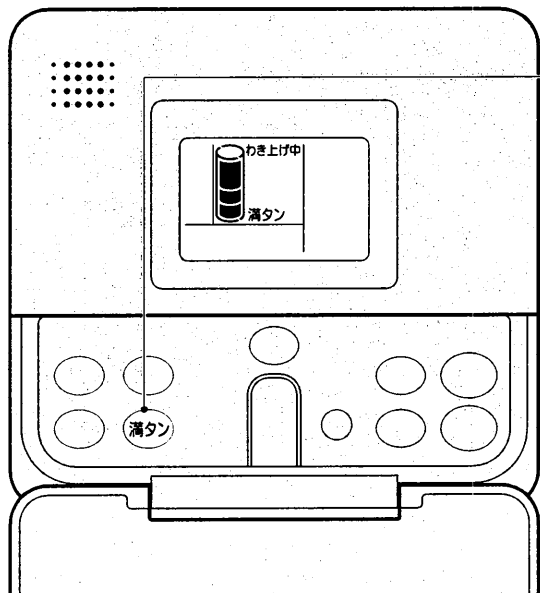
お知らせ

- わき上げ温度を「おまかせ」に設定すると、過去の使用湯量と現在の給水水温から翌日の使用湯量を予測して、約75℃～約90℃の範囲でわか増し温度を決定し、ムダなく効率的にわか増しします。
- 外気温度が低い場合やタンク内の残湯量が多い場合は、わか増し温度が低くなる場合があります。

たくさん お湯を使う(わき増し)

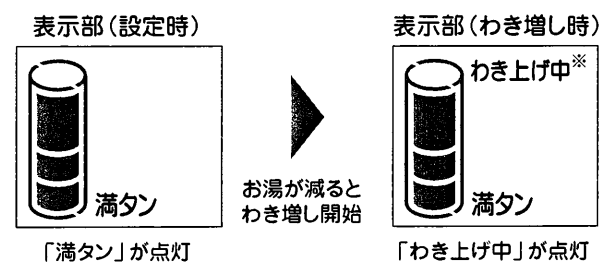
「わき増し」とは、お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。来客などでたくさんのお湯が必要なときは「満タンわき増し」を設定してください。一度設定すると、設定したその日(7:00~23:00)は何回でもタンク全体のわき増しを行います。(23時になると自動的に解除されます。)

リモコン



必要な箇所を表示してあります。

1 **満タン** を押す

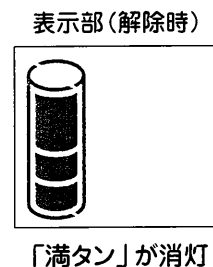


※お湯が減る(タンクが満タンの状態から約50L使用する)とわき増しが始まります。わき増し中は、「わき上げ中」が表示されます。

2 スイッチを押してから約2秒後、設定が完了します。

解除するとき

もう一度 **満タン** を押す



お知らせ

● わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。

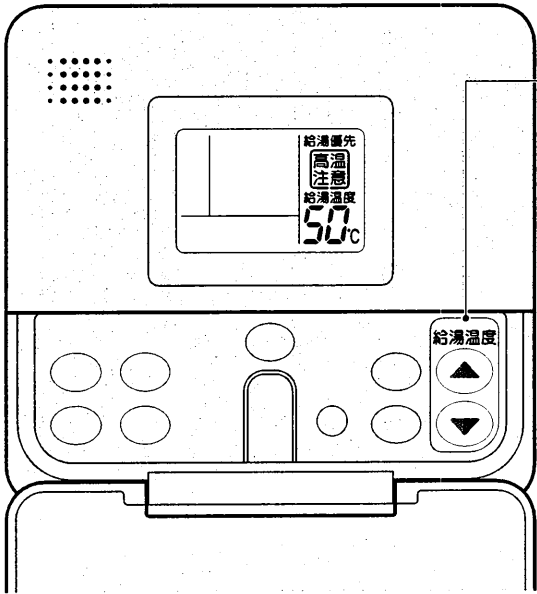
● わき増しの場合も、「タンクのわき上げ温度を設定する (P14)」で設定した温度にわき上げます。



「蛇口やシャワー」に行くお湯の温度を決める

家の中の蛇口(台所、洗面所、シャワーなど)へ行くお湯の温度を決めてください。

リモコン



必要な箇所を表示してあります。

1



を押して
温度を設定する

- ▲ を押すと温度が高くなります。
- ▼ を押すと温度が低くなります。

2

スイッチを押してから約2秒後、
設定が完了します。

お買上げ時は …50℃

設定できる温度は …35℃～48℃(1℃刻み) / 50℃ / 60℃

⚠ 警告

給湯温度を変更すると、すべてのお湯の温度(シャワーなど)が変わります。他の人が使っていないか十分に注意してください。(やけどの原因)

お願い

- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度の設定を使用するお湯の温度より約10℃以上高く設定してください。

お知らせ

- 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。(60℃に設定した場合は警告音も鳴ります。)
- 給湯口から出るお湯は、配管の放熱によって低くなる場合があります。
- 使用する蛇口によっては、給湯量が少なくなることがあります。その場合は給湯温度の設定を60℃にしてご使用ください。

数日間 お湯を使わないとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

お買上げ時の設定 …なし

設定できる範囲 …2日～15日／連続停止 (1カ月以上使用しない場合 P19)

わき上げ停止日数の決めかた

例) 10月1日に出発し、10月4日に帰宅する3泊4日の旅行の場合

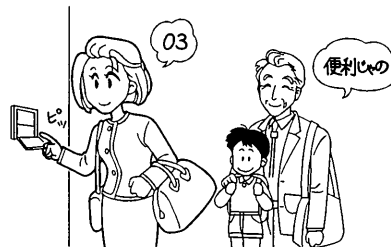
出発日(10月1日)に停止日数「03」を設定

(1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。)

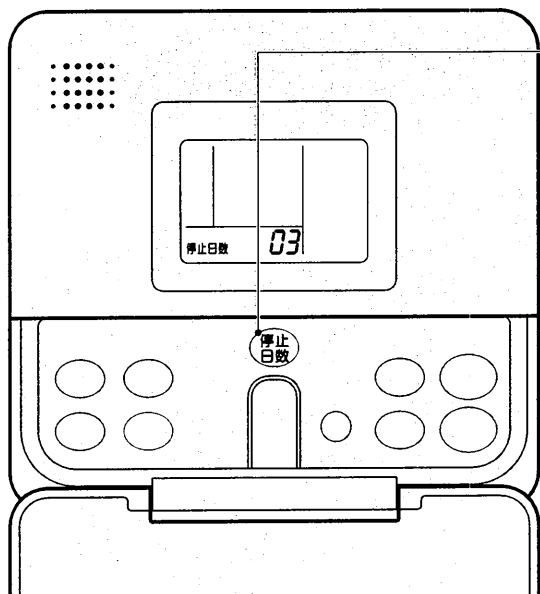
帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

〈予定日より早く帰宅した場合〉

お湯が必要な場合は、停止日数を解除し「満タンわき増し(P16)」を使用してください。



リモコン



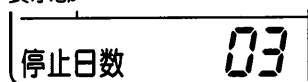
必要な箇所を表示してあります。

1



(設定する日数が表示されるまで押します。)

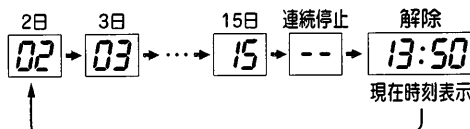
表示部



停止日数

を押すごとに表示部の停止日数が進みます。

(スイッチを押し続けると、表示が連続して進みます。)



解除するときは「現在時刻表示」にします。

2

スイッチを押してから約2秒後、設定が完了します。

解除するとき…「現在時刻表示」になるまで、停止日数スイッチを押す

お知らせ

- 連続停止 (--) を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。
- 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
- 停止日数の表示は、1日ごとに減っていきます。(連続停止 (--) が表示されているときは除く。)

- 停止期間中に下記の動作または設定を行うと自動解除されます。

- エラー発生時
- 満タンわき増しの設定
- 現在時刻の設定

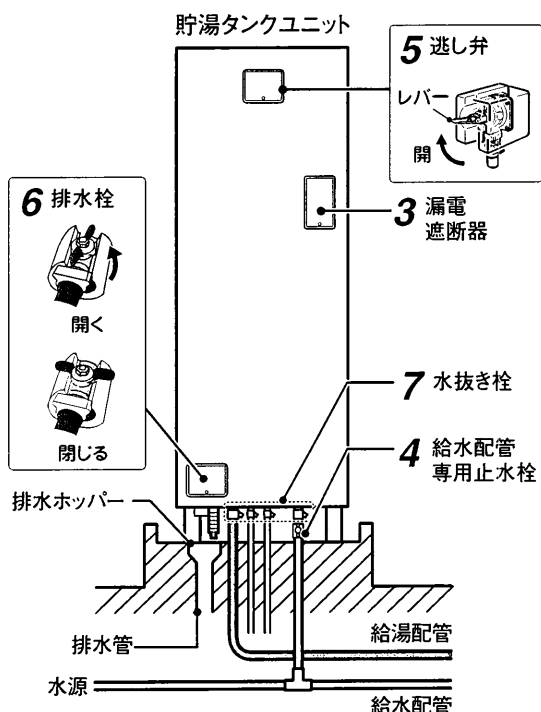
※特に停止中にお湯を使用した場合、残湯量が減り、「U04」エラーが表示される場合があります。この場合は停止日数が解除され通電を開始します。

長期間 使用しないとき

1カ月以上 使用しないときは、運転を止め貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水を抜きます。
また、凍結による不具合防止のため、給湯機の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。

⚠ 注意

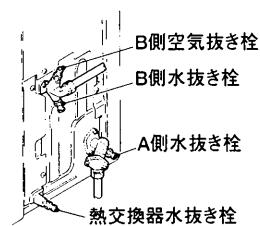
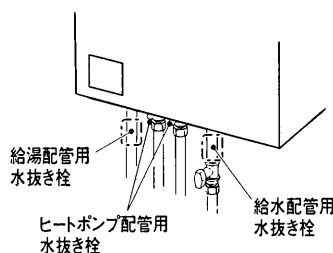
- 1カ月以上使用しないときは、タンクの水を抜く(水質変化の原因)
- 配管の凍結防止ヒーターの電源は切らない(配管凍結・水漏れの原因)
- タンクの熱湯を直接排水しない(やけど、排水管などの破損の原因)



- 1** 前日から準備できる(タンクのお湯を抜くことがわかっている)場合、
わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する
(あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げることがなくなります。
停止日数設定後、多量に湯を使うと設定が解除されますので、お湯を使わな
くなってから設定してください。)
- 2** タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓(例えば台所など)を
開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す
(熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。)
- 3** 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切(OFF)」にする
- 4** 給水配管専用止水栓を閉じる
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。
- 5** 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる
タンクへ空気を取り入れます。
- 6** 貯湯タンクユニットの排水栓を開く
タンクの水(お湯)を抜きます。
排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。
水が抜けるまでに約40分～50分かかります。
- 7** タンクの排水が終わったら、機器の水抜き(下図に示す各ユニットの
水抜き栓、空気抜き栓を開く)をする
配管の水(お湯)を抜きます。容器などで受けて排水します。

〈貯湯タンクユニット〉

〈ヒートポンプユニット〉



水抜き栓・空気抜き栓の開きかた



⚠ 警告

排水時は、やけどに注意する

- 8** 手順7(各ユニットの水抜き栓、空気抜き栓を開く)完了後、1時間程度
放置してから、水抜き栓、空気抜き栓、排水栓を閉じる

- お願い**
- 配管の水が完全に抜けないので、配管の凍結防止ヒーターは切らないで
ください。
 - 排水直後に逃し弁を閉じないでください。タンクが負圧になり破損する
原因となります。(逃し弁は再び使用するときまで閉じないでください。)

再び使用するとき

排水栓、水抜き栓、空気抜き栓が開いていることを確認してから、
準備(P10)の手順を行なってください。

災害時などにお湯を取り出す

地震などの万一の災害時は、タンクのお湯(水)を生活用水として利用できます。
(操作方法は、本体の前面カバーにも貼ってあります。)



準備するもの

■容器(バケツ、たらい)、タオル

バケツ



たらい



タオル

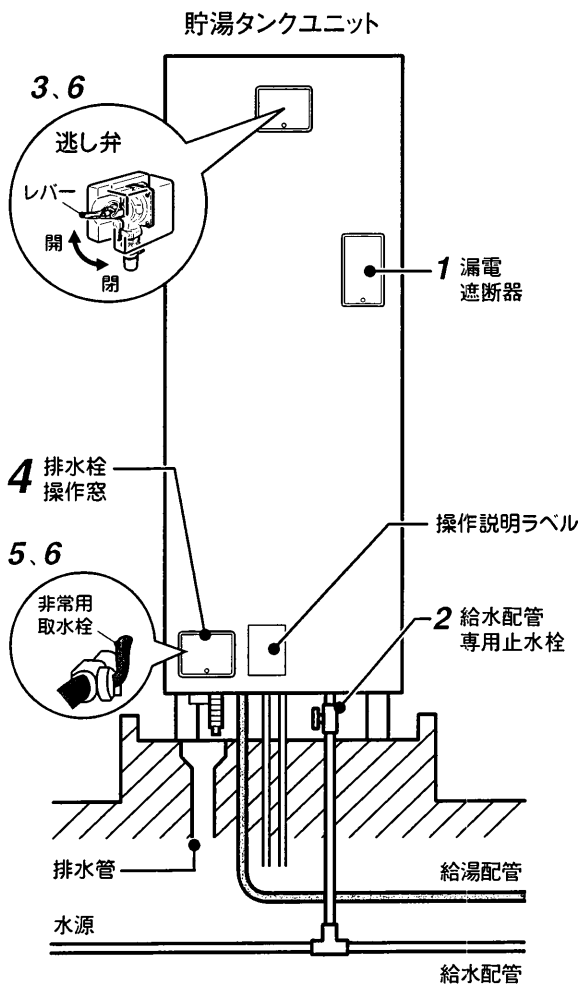


お知らせ

●非常用取水ホースは、本体の内部(前面カバーに沿って)に収納されています。

お願い

●取水時は、他のホースが抜けないように注意してください。



1 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切(OFF)」にする

電気の供給を停止します。

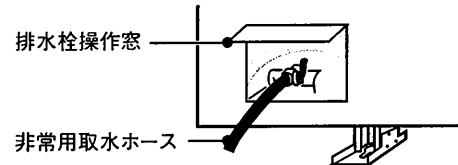
2 給水配管専用止水栓を閉じる

貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

3 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる

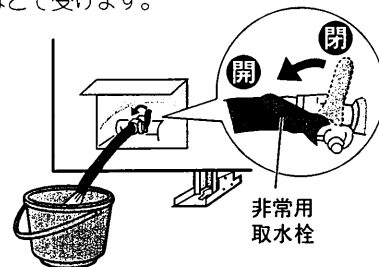
タンクへ空気を取り入れます。

4 非常用取水ホースを排水栓操作窓から出す



5 非常用取水栓を開く

タンクの水(お湯)を取り出します。
バケツなどで受けます。



警告

取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯(最高90℃)が出る場合があります。

〈取水が終わったら〉

6 非常用取水栓を閉じる

再び使用するとき

逃し弁のレバーを下げ、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、準備(F10)の手順を行なってください。

凍結防止をする

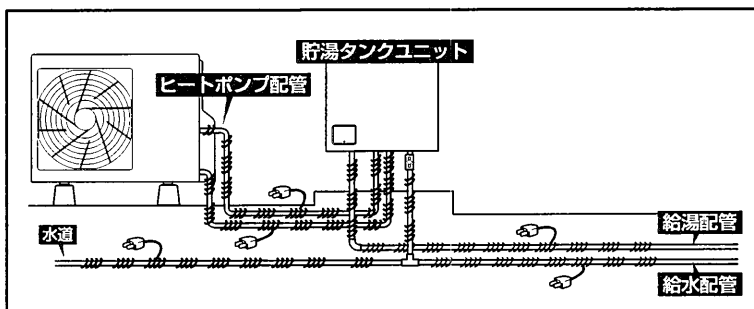
寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒーターのプラグを入れる）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）据付工事店へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

△ 注意

- 凍結防止対策の確認をする
- 給湯機の電源や凍結防止ヒーターの電源を切る場合は、給湯機内および配管内の水をすべて抜く（手順 P19▶）凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

● 凍結防止ヒーター（市販品）を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。



お願い ● 配管が凍結した場合は、給水配管専用専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

お知らせ ● 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニット用の凍結防止のため、タンク内にお湯がない場合、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。（運転停止日数が設定されている場合や運転モードが「深夜のみ」に設定されている場合でも、凍結防止のため動作します。）

停電したとき

この給湯機は、約2時間のメモリ機能がついていますので、短時間の停電であれば、お客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。

ただし、長時間の停電の場合は、下記の設定が初期設定に戻りますのでご利用の設定に直してください。また、必ず時刻を合わせ直してください。

● リモコンの設定は…

機能	初期設定に戻る	設定方法
時刻	「00:00」の点滅	P12▶
わき上げ温度	「おまかせ」	P14▶
運転モード	「通常」	P15▶
満タンわき増し	解除	P16▶
停止日数	解除	P18▶
給湯温度	50℃	P17▶

● わき上げは…

時刻表示が「00:00」で点滅している場合（停電が2時間以上続いた場合）は、わき上げを行いません。必ず時刻を設定してください。

お願い ● 必ず時刻を合わせ直してください。（P12▶）時刻を合わせないと、わき上げできません。また、正しい時刻に合わせないと、電気料金が割高になる場合があります。

定期点検(有料)

給湯機を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検(有料)を行なってください。
定期点検については、据付工事店(販売店)または「三菱電機 ご相談窓口」(P27)へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

● 定期点検の主な内容

項目	内容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品(配線、導通、動作の確認)、弁類(減圧弁、逃し弁)などの点検および消耗部品の交換
清掃	タンク内の清掃(沈殿物の除去など)、 減圧弁ストレーナーやヒートポンプ配管用ストレーナーの掃除

● 消耗部品

以下の部品は消耗部品です。

- 減圧弁 ■逃し弁 ■パッキン類
- 混合弁 ■センサー類 ■バイパス弁

お願い ● 上記部品の交換時は、当社純正部品をご指定ください。

断水したとき

断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。(閉じると給湯機からのお湯が止まります。)

閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニット内の減圧弁(ストレーナー部)が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。工事が終了したら、水側の蛇口を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

日常のお手入れと点検

日常のお手入れ

■時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1月に1回程度確認を行なってください。ずれている場合は、リモコンで時刻を合わせ直してください。(P12)

お願い ●約2時間以上の停電があったときや長時間電源を「切」にしていたときは、表示部の「00:00」が点滅しますので、必ず時刻を合わせ直してください。

■リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。



お願い ●ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

1年に2~3回程度のお手入れと点検

■漏電遮断器の動作点検

漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

①テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。「切」にならない場合は、据付工事店にご連絡ください。

②必ず電源レバーを「入」に戻す



警告
漏電遮断器の動作を確認する
(感電の原因)

■逃し弁の点検 (P9)

動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉

レバーを上げて逃し弁を開き、水(お湯)が排水口から出ることを確認する

水(お湯)が出れば正常です。水(お湯)が出ない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店にご連絡ください。また、レバーの動きが悪い場合は、早めに据付工事店へご連絡ください。

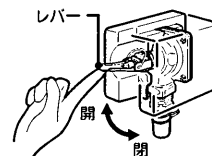
動作確認後は必ずレバーを下げてください。

〈水漏れ点検〉

わき上げをしていないとき(リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき)、排水口から水(お湯)が出ていないかを確認する

水(お湯)が出ていなければ正常です。水(お湯)が出ている場合は、レバーを数回、上下に動かします。それでも、水が止まらない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

お願い ●逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。(点検時は、転倒しないよう注意してください。)



警告
点検時は、配管に手を触れない
(やけどの原因)

注意
逃し弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、
やけどの原因になります。

■配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行います。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

お願い ●本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店へご連絡ください。

注意
配管を点検する
マンションなど、中・高層住宅では水漏れ
が起きた場合、下層階に被害を及ぼす
ことがあります。

■タンクのお手入れ

お願い ●わき上げ中(リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき)は行わないでください。
●タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管(溝)のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店へご連絡ください。(有償)

わき上げ中の表示



①給水配管専用止水栓を閉じる

②逃し弁を開く

③排水栓を約1~2分間開く

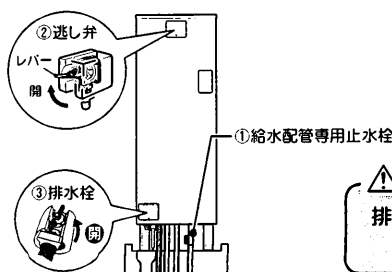
タンクの下部にたまった汚れを排水します。排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。

④汚れがなくなったら排水栓を閉じる

汚れが多い場合は、数回繰り返します。

⑤給水配管専用止水栓を開く

⑥勢いよく水が出たら、逃し弁を閉じる



警告
排水時はお湯に手を触れない
(やけどの原因)

故障かな？

こんなときは故障ではありません

■ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す
気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。

■わき上げ運転中、ヒートポンプユニットの蒸発器が霜で白くなる
冬期運転中は蒸発器に霜がつくことがあります。

■排水口からお湯が出ている
わき上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

■夜間時間帯になっても、すぐにわき上げを行わない
(ヒートポンプユニットが動いていない)
給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。(ピークシフト機能)

■設定したわき上げ温度までわき上がらない
以下のことを行うと、設定したわき上げ温度までわき上がらない場合があります。また、配管からの放熱や外気温の低下が大きい場合も同様です。
①リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合
②わき上げ湯温の設定をかえた場合
(「低」→「高」または「おまかせ」→「高」)
③給水水温が低く、残湯量が少ない場合
●給水水温…10℃以下 ●残湯量……20L未満
④外気温が低い場合
外気温がマイナス10℃以下になると、わき上げ温度を自動的に約65℃に調整します。(機器の保護のためです。リモコンでのわき上げ温度設定に関係なく低く調整します。)

■昼間にヒートポンプユニットが動く
今までの使用湯量を考慮して、必要に応じ、わき増し運転をしています。

■リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する
停電が原因です。時刻を合わせ直してください。(P12)

■わき上げ運転中、ヒートポンプユニットのドレン口から水がでる
ヒートポンプが空気から熱を吸収するときに、結露した水がでます。

■運転停止を設定していてもヒートポンプユニットが動く
■運転モードを「深夜のみ」に設定していても昼間にヒートポンプユニットが動く
外気温が低下すると、自動で凍結防止のための運転を行います。

■満タンスイッチを押しても、わき上げを開始しない
タンク内に既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定すると、タンク内のお湯が50L以上減ったとき自動的にわき上げを開始します。

■浴槽の水が青く見える
光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンによって浴槽や洗面部材などが青くなることがありますが異常ではありません。

■お湯から油がでる、お湯が臭い
初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

■お湯が白く濁って見える
水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

リモコンにユーザーメッセージまたはエラーが表示された場合の処置

リモコンにユーザーメッセージ、エラーが表示された場合は、以下の処置をしてください。

表示	原因(症状)	処置
ユーザーメッセージ U04	タンク内にお湯がありません。 (外気温がマイナス10℃以下になると、わき上げ温度を自動的に低く調整するため、発生しやすくなります。)	満タンわき増し(P16)を行なってタンク内をわき上げてください。
エラー H03	貯湯タンクユニットとリモコンが正しい組み合わせではありません。	据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。 (わき上げを行わないことがあります。)
	風呂リモコンが接続されている	風呂リモコンを取りはずす。
	貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。	据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。 (わき上げは行います。)
その他の表示 (E00)など	給湯機の故障です。	200V電源ブレーカーと貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を開けてから、据付工事店(販売店)または「三菱電機 修理窓口」(P26)へご連絡ください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」(P26)へご相談ください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	処置
リモコンの表示部が点灯しない (電源が入らない)	200V電源ブレーカーが「切(OFF)」になっている	「切(OFF)」になっている場合は、「入(ON)」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切(OFF)」になっている	「切(OFF)」になっている場合は「入(ON)」にしてください。再度「切(OFF)」になる場合は、そのまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	停電している	停電が終わるまでまってください。
お湯が出ない お湯の出が悪い	給水配管専用止水栓が閉じている	閉じていれば開いてください。
	断水している (蛇口から水がでますか?)	断水が終るまで待ってください。
	配管が凍結している	凍結していた場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店(販売店)へご連絡ください。
お湯がわかない お湯が足りない	「深夜のみモード」で使用している	通常モードに設定してください。(P14)
	リモコンが接続されていない	据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	時刻が設定されていない(リモコンの時刻表示部が点滅している)	時刻を設定してください。(P12)
	リモコンの停止日数が表示されている	停止日数を解除して、満タンわき増しを利用してください。 (停止日数の解除 P18、満タンわき増し P16)
	電源ブレーカーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。
	漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている	「切」になっている場合は、「入」にしてください。2度、3度と「切」になる場合は、「切」のまま据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	わき上げ湯温設定が低い	「低」の場合は「おまかせ」または「高」へ設定を変えてください。
	リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口からお湯(水)がでている。	逃し弁の点検を行なってください。(P23) 逃し弁が正常でもお湯(水)が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。
	リモコンに「わき上げ中」が表示されているときに、お湯をたくさん使用した(特に夜間時間帯)	満タンわき増し(P16)を利用してください。
いつもに比べてお湯をたくさん使用した	満タンわき増し(P16)を利用してください。 翌日の使用湯量が多くなると予測できる場合は、あらかじめわき上げ湯温の設定を上げてください。	
排水口からお湯(水)が出ている	逃し弁、減圧弁の故障です。 逃し弁の点検を行なってください。(P23) 逃し弁が正常でもお湯(水)が出ている場合は、減圧弁の故障が考えられますので据付工事店(販売店)へご連絡ください。	
浴槽や洗面器等に青い線がつく	湯垢と銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したものです。 台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯垢がつかないようにすれば防止できます。	

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口」(P26)へご相談ください。

アフターサービス

■保証書(添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名(販売店名)」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのおと、大切に保管してください。(取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。)
- 据付工事説明書(別添付)で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間... お買上げ日から2年間です。ただし、熱交換器・コンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

■補修用性能部品の保有期間

- この製品の補修用性能部品の製造打切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(右一覧表)へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- 「故障かな?」(P24)にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店(販売店)にご連絡ください。
- 保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店(販売店)が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金は
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容

1.品名 : 三菱 自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機
2.形名 : 前面カバーに表示してあります。
3.お買上げ日 : 年月日
4.故障の状況 : できるだけ具体的に
5.お名前・ご住所(付近の目印なども)・電話番号・訪問希望日

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内
(家電品)

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などでお買上げの販売店へ
ご依頼できない場合は

修理のお問い合わせは

その他のお問い合わせは

修理窓口へ

ご相談窓口へ

修理窓口 電話受付 : 365日24時間

北海道地区

札幌 (011) 890-7520 札幌市厚別区大谷地東 2-1-18	帯広 (0155) 35-3111 帯広市西15条南 14-1
旭川 (0166) 26-5580 旭川市曙1条 8-1-4	苫小牧 (0144) 55-1114 苫小牧市明野新町 2-1-18
北見 (0157) 25-7045 北見市並木町 500-5	小樽 (0134) 33-3380 小樽市緑 2-28-22
釧路 (0154) 24-1355 釧路市喜多町 2-25	函館 (0138) 49-0345 函館市西桔梗町 589-57

東北地区

青森 (017) 773-8381 青森市大字野木字野尻 37-184	秋田 (018) 865-4471 秋田市八橋三和町 19-36
弘前 (0172) 32-6535 弘前市大字青山 4-20-3	横手 (0182) 32-1785 横手市卸町 3-2
八戸 (0178) 28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8	大館 (0186) 42-2781 大館市餅田 2-5-44
盛岡 (019) 637-7454 盛岡市羽場13地割 30-11	山形 (023) 624-0018 山形市大野目 2-1-21
水沢 (0197) 25-4511 水沢市卸町 2-3	鶴岡 (0235) 24-6161 鶴岡市上畑町 5-4
仙台 (022) 238-1773 仙台市若林区大和町2-18-23	郡山 (024) 959-6543 郡山市喜久田町卸 1-76-1
気仙沼 (0226) 23-8485 気仙沼市田中前 2-9-2	会津 (0242) 27-4426 会津若松市天寧寺町 3-7
石巻 (0225) 95-9111 石巻市門脇字四番谷地 16-268	原町 (0244) 24-2842 原町市桜井町 1-173
古川 (0229) 24-3595 古川市米袋字大窪 25-1	いわき (0246) 26-1822 いわき市内郷御台境町鶴巻 75-8

修理窓口 電話受付：365日24時間

首都圏地区

東京都・神奈川県・千葉県
茨城県・埼玉県・栃木県・群馬県

フロントセンター東京

電話 (03) 3424-1111

FAX (03) 3424-1115

東京都世田谷区池尻 3-10-3

関西・北陸・中国・四国地区

大阪府・奈良県・和歌山県
兵庫県・京都府・滋賀県
石川県・富山県・福井県・広島県
山口県・島根県・鳥取県・岡山県
香川県・徳島県・高知県・愛媛県

フロントセンター関西

電話 (06) 6454-3901

FAX (06) 6454-3900

大阪市北区大淀中 1-4-13

甲信越地区

新潟 (025) 274-9165 新潟市竹尾卸新町 752-9	長野 (026) 221-3232 長野市稲葉 904
長岡 (0258) 23-3323 長岡市南陽 1-1118-1	松本 (0263) 27-2461 松本市芳川野溝 531
上越 (025) 524-1160 上越市春日山町 3-6-3	飯田 (0265) 52-5396 飯田市上郷別府 3367-1
	山梨 (055) 222-2711 甲府市下飯田 1-4-11

東海地区

愛知県・三重県・岐阜県東濃地区

フロントセンター名古屋

電話 (052) 721-0131

FAX (052) 721-7268

名古屋市中区矢田南5-1-14

沼津 (055) 922-7111 沼津市若葉町 20-1	岐阜 (058) 275-0909 岐阜市中鷺 3-24
静岡 (054) 284-0821 静岡市中原 913	高山 (0577) 33-7410 高山市冬頭町 981-5
浜松 (053) 463-8455 浜松市上西町 62-5	

九州地区

福岡 (092) 412-5333 福岡市博多区東那珂 3-1-21	熊本 (096) 380-0211 熊本市石原町 326-1
北九州 (093) 653-1231 北九州市八幡東区昭和 2-5-25	八代 (0965) 33-5173 八代市緑町 13-1
佐賀・ 久留米 (0942) 45-2661 久留米市東合川新町 7-20	大分 (097) 558-8803 大分市向原西 1-8-1
唐津 (0955) 72-1337 唐津市東城内 6-50	宮崎 (0985) 56-4900 宮崎市大字赤江字飛江田150-1
長崎 (095) 843-0622 長崎市大橋町 23-4	延岡 (0982) 21-3540 延岡市惣領町 25-5
佐世保 (0956) 30-7740 佐世保市木原町 155-1	鹿児島 (099) 260-2421 鹿児島市卸本町 7-17
	沖縄 (098) 898-3333 宜野湾市大山 7-12-1

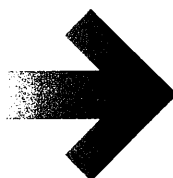
ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

受付時間 365日 24時間



■全国どこからでも おかけいただけるフリーコール

☎ 0120-139-365 (無料)

いつもサンキュー 365日

■通常電話番号 (携帯電話対応) 03-3414-9655

■FAX 03-3413-4049

仕様

形名	セット	SRT-HP373	SRT-HP373D	SRT-HP463	SRT-HP463DM
	ヒートポンプユニット	SRT-HPU453	SRT-HPU453	SRT-HPU603	SRT-HPU603
	貯湯タンクユニット	SRT-HPT373	SRT-HPT373D	SRT-HPT463	SRT-HPT463DM
適用電力制度		時間帯別電灯通電制御型			
種類 (設置場所)		屋外型 (貯湯タンクユニットのみ屋内設置可)			
タンク容量		0.37m ³ (370L)		0.46m ³ (460L)	
定格電圧・周波数		単相 200V・50/60Hz			
ヒートポンプユニット	定格加熱能力※2※3	4.5kW		6.0kW	
	定格消費電力※3	1.11kW		1.40kW	
	夏期加熱能力/消費電力※2※4	4.5kW/1.01kW		4.5kW/0.97kW	
	冬期加熱能力/消費電力※2※5	4.5kW/1.24kW		6.0kW/1.64kW	
	冬期高温加熱能力/消費電力※1※2※6	4.5kW/1.53kW		6.0kW/1.99kW	
凍結防止ヒーター		24W (3℃ ON、7℃ OFF)			
最大電流		16A		18A	
わき上げ温度		約75℃～約90℃			
寸法	ヒートポンプユニット	高さ640mm × 幅820(+80 [*])mm × 奥行き300mm ※配管カバー寸法			
	貯湯タンクユニット (高さ×幅×奥行き)	1900 × 630 × 730mm		2200 × 630 × 730mm 1870 × 690 × 790mm	
質量	ヒートポンプユニット	約59kg		約62kg	
	貯湯タンクユニット	約80kg (満水時約450kg)		約90kg (満水時約550kg)	
運転音※7		38dB		40dB	
最大使用圧力		190kPa (逃し弁設定値)			
冷媒名 (封入量)		CO ₂ (0.77kg)		CO ₂ (1.15kg)	
安全装置		漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁			
リモコン (別売)		RMC-HP3 (外形寸法: 縦 132mm 横 140mm 厚さ 22mm)			

- ※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
- ※2 わき上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- ※3 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃
- ※4 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 25℃/21℃、水温24℃、わき上げ温度65℃
- ※5 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 7℃/4℃、水温9℃、わき上げ温度65℃
- ※6 作動条件: 外気温 (乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、わき上げ温度90℃
- ※7 定格条件下での測定 (JISのルームエアコンディショナに準じ測定)。運転音は、実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反射を受け、表示値より大きくなります。



※3,4,5,6,7について

- 外気温: 理科年表、月別平年気温・湿度 (1961年から1990年までの平均値)
- 水温: (社)ソーラーシステム振興協会「ソーラーシステムの設計基準に関する調査研究」(昭和57年9月)
- いずれも東京・大阪の季節別環境条件です。

製品形名に「D」の付くタイプには、万一、貯湯タンクユニット内で水漏れが起こった時、貯湯タンクユニットへの給水を自動的に止めて水漏れによる被害拡大を抑制する機能があります。(タンク内に貯まっているお湯(水)までストップするものではありません。)

製品形名 (製造番号)	SRT- < >	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
リモコン形名	RMC-HP3	
お買上げ日	年 月 日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

	★長年ご使用の給湯機の点検を!	●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。
	 <p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●設置場所が濡れている。 ●お湯が早くなる。 ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。 	<p>故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管用不凍結水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。</p>

 三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県新田郡尾島町岩松800
電話番号 0276-52-1111 (代表)